

## 退任のあいさつ

前副町長 田中 令児



平成28年4月、副町長に就任しましたが、その2週間後に熊本地震が発生しました。未曾有の大災害で、大混乱の中での被災者支援そして復旧復興への取り組みとなりましたが、家人町長のもと職員や議会をはじめ多くの関係機関のご支援ご協力、そして何より住民の皆様が頑張るぞという強い思いの中で復興が進んできました。4カ所の災害公営住宅も完成し、今年度は国道57号北側復旧ルートやJR豊肥本線の開通により、さらに復興が進むと思います。そのような中、不適切な事務が相次ぎ、多くの皆さまにご迷惑をおかけしました。事務方の責任者として指導力不足であり、監督が行き届かなかったことにつきまして、心よりお詫びを申し上げます。たくさんの方々に支えられた4年間で、すべての皆さまに感謝を申し上げ、大津町がこれからさらに大きく飛躍、発展しますことをご祈念いたしましてあいさつとします。ありがとうございました。

## 就任のあいさつ

副町長 杉本 辰則



この度、家人町長から推薦を受け、議会のご同意をいただき、副町長を拝命いたしました。私自身、その職責の重さに改めて身の引き締まる思いでございます。平成28年の熊本地震から4年が経ち、その間、家人町長をはじめ、議会や町民の皆様方のご尽力により、災害公営住宅の完成や国道57号線の復旧の見通しが立つなど、復興の姿も見えてきたところで、引き続きながら、現在、新型コロナウイルス感染症の拡大が続いており、町といたしましても、町民の命を守ることを基本方針として、感染防止に取り組んでいるところであります。もとより、浅学菲才の身でございますが、町の将来像であります「夢と希望のかなう元気大津」づくりに、一生懸命取り組んでまいる所存でございます。町民の皆様方のご指導を賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさつとさせていただきます。

## 新規採用職員紹介

令和2年度の新規採用職員です。  
(4月1日付・敬称略)

## よろしく お願いします



あいさつが必ず返ってくる大津町が好きです。

税務課 固定資産税係 田中 健斗



仕事を早く覚えて一生懸命頑張ります。

福祉課 福祉係 花田 知佳



町民の方の役に立てる職員になれるよう精一杯頑張ります。

福祉課 障害福祉係 森園 夏帆



座右の銘は「一生懸命がかっこええ」です。何事にも全力で頑張ります。

学校教育課 学務係 佐藤 さくら



町民の立場に立って考え、寄り添える行政マンとして頑張ります。

子育て支援課 子育て支援係 木瀬 信希



人が温かく雰囲気がいい大津町のために貢献していきたいです。

生涯学習課 生涯学習係 眞田 翼



町の北側・中央・南側でそれぞれ魅力があるところが好きです。

住民課 住民係 光永 悠一郎



## ●問い合わせ

役場人権推進課 人権推進係

☎096(293)7920

「大津町部落差別等撤廃・人権擁護に関する条例」を一部改正しました

近年、SNSなどでの匿名による言われなき誹謗中傷や人権侵害、差別的書き込みが全国各地で報告されています。また、部落差別をはじめ、女性や子ども、高齢者への虐待やいじめ、外国人、障がい者やLGBTQなど性的マイノリティーの皆さんに対する不当な差別や偏見は根強く残っています。そのような状況を受け、平成28年に「障害者差別解消法」、「ヘイトスピーチ解消法」、「部落差別解消推進法」のいわゆる「差別解消三法」が施行され、町でも、部落差別をはじめあらゆる差別の解消を推進するため、「大津町部落差別等撤廃・人権擁護に関する条例」を令和2年3月に一部改正しました。

●目的に、「部落差別の解消の推進に関する法律」を根拠とし、差別を解消する3つの法律名を追加。

●町の施策の推進について、必要に

じて国、県および関係団体との連携を図り、意識調査などの実施。

●相談体制の整備について、国および県と適切な役割分担を踏まえ、あらゆる差別に関する相談に的確に応じるための整備に努める。

これからも、誰もが人権を尊重される、差別のない明るい社会を目指して、人権啓発を町民の皆さんと一緒に進めていきます。

人権擁護委員はあなたの相談相手です

人権擁護委員は、法務大臣から委嘱を受け、人権相談や人権の考えを広める活動をしています。町には次の人権擁護委員が在籍されています。

津留 武芳さん(杉水)  
大北ムツ子さん(吹田)  
樋口 良久さん(陣内)  
松本 晴美さん(室)  
岩尾 昭徳さん(岩坂)  
江原よね子さん(大津)

「みんなの人権110番」

人権擁護委員が人権相談にあたります。相談は無料、秘密は守られますので、お気軽にご相談ください。

☎0570(003)110

※最寄りの法務局につながります。



## ●問い合わせ

役場人権推進課 男女共同参画推進係

☎096(293)7920



大津町男女共同参画審議会 委員 吉武 千鶴さん

私は商工会から推薦を受け、昨年から男女共同参画審議会の委員として活動しています。

「男女共同参画」という言葉は以前から知っていましたが、身近に感じたことは少なく、委員になり初めてさまざまな取り組みをされていることを知りました。審議会を中心に啓発活動を行い、行政も女性の登用に力を入れているということですが、実際はまだまだ進んでいない現状があるようです。

審議会の中で男女別の家事分担時間の資料を見た際、十年間でこれだけ女性社会進出を果たしているにも関わらず、家事分担時間はあまり変わっていないことに驚きました。最近ではイクメンも多く、また共働き世帯も多いため、若い世代でもっと家事分担ができていくものだと思っていたので驚

きました。特に小さいお子さんがいる世帯は家事、育児、仕事と怒涛の日々で、しかも家事育児に休日はありません。

最近、「名もなき家事に名前をつけたい」という本が出版されました。これは育児を取ったコピーライターが書いた本ですが、名もなき家事の見える化に挑戦した本です。日常にある家事とはなかなか認識されない数々の事に名前を付け、それをユーモラスに解説した本です。これを読んで、いかに無意識にやっている家事が多いのかを改めて感じました。

一言で家事と言っても、料理・洗濯・掃除という一括りではなく、より細かく全体の仕事内容や仕事量が分かれば分担もしやすいかもしれません。男女関係なく、それぞれができることを協力してやれると良いのではないのでしょうか。

一人一人の意識改革や行動が、誰もが生き生きと活躍できる社会の実現につながると思います。

【大津町男女共同参画川柳コンテスト】入選

「だれんこつ? わたしの名前は「おい!」じゃなか」 飯富 美雪さん